

大学生1,144名への参議院選挙意識調査結果 —若者はネット投票を最も望んでいる—

NPO法人ドットジェイピー

NPO法人ドットジェイピー(以下、ドットジェイピー)は、『若年投票率の向上』を目的に、議員事務所や大使館、官公庁にて政策立案過程や行政について就業体験を積む「インターンシッププログラム」(議員・首長・グローバルインターンシップ)、国家政策立案コンテストを行う「未来国会」を、学生を対象に提供しております。

この度、ドットジェイピーでは、第23回参議院選挙に向けた啓発活動に加え、今回から解禁されたネット選挙を含めた若者の政治意識調査を全国1,144名の学生を対象として実施いたしました。その結果をここにお伝えします。

■調査概要■

- 【調査対象】 日本全国の大学生(大学院生含む)
- 【有効回答数】 1,144名
- 【期間】 2013年6月28日～7月8日
- 【調査目的】 第23回参議院議員通常選挙に際し、若者の選挙に対する意識の現状を調査
特に、ネット選挙解禁による若者の投票をする気持ちや選挙への意識への変化・影響の調査
- 【調査方法】 WEBアンケート(弊団体学生スタッフの配信) 紙媒体アンケート(弊団体学生スタッフが回収)

■調査結果報告■

1)今回の選挙に関心が「ある」「どちらかといえばある」と答えた学生は全体の74%であった。

「関心がない」「どちらかといえばない」と答えた学生は26%で、約4分の3の大学生が選挙に関心を持っている。また、ネット選挙について知っている割合も、同じく4分の3の大学生がネット選挙について知っている」と答えた。

2)投票に行かない理由には「政策の良し悪しを判断できないから」が一位となった。

前回の衆議院選挙にて当団体が行った意識調査アンケートでは「投票に行く時間がない」が一位であったが、複雑化する社会や全国各地での候補者乱立によるためか、政策の是非を不明確にできないことから投票へ行かないという理由が最も多くなった。第二位、第三位にはそれぞれ「投票所が遠い」「投票に行くひまがない」という投票環境に対する理由が並んだ。

3)ネット選挙で解禁してほしいことは「インターネット上での投票」が圧倒的に支持された。

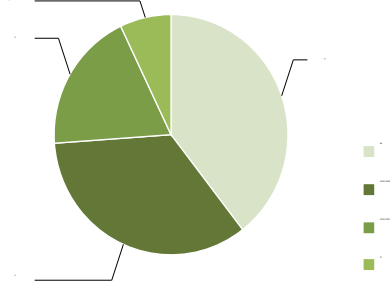
「投票期日前にインターネット上で投票すること」「投票期日終日にインターネット上で投票すること」「投票所が空いている時間にインターネット上で投票すること」のそれぞれに対して、全体の約38%の大学生が解禁して欲しいと答えた。また、「ネット選挙が解禁されたことで有権者が投票に行くようになると思う」と答えた学生は16%であった。若者にとって現状のネット選挙ではまだ投票は身近に感じられないと考えられる。

インターネット上の投票は今後、より求められる制度である。

■調査結果報告■

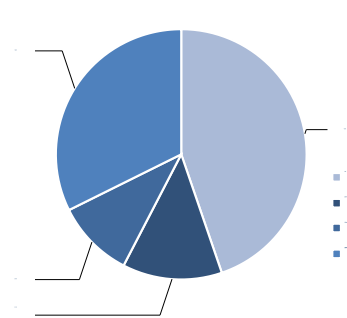
1, 若者の選挙に対する姿勢

・今回の参議院議員通常選挙に関心はあるか



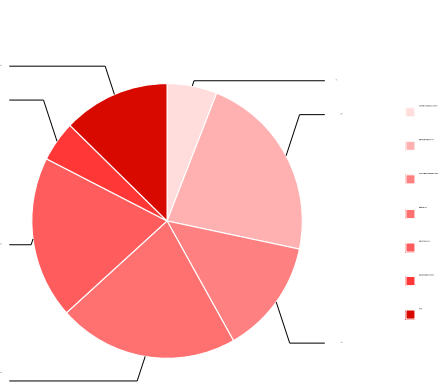
今回の選挙への関心	(人)
ある	452
どちらかといえばある	393
どちらかといえはない	218
ない	81
計	1144

・今回の選挙に行くか



今回の選挙に行くか	(人)
行く	512
迷っている	147
行かない	115
選挙権がない	370
計	1144

・選挙へ行かない理由 ※複数回答可

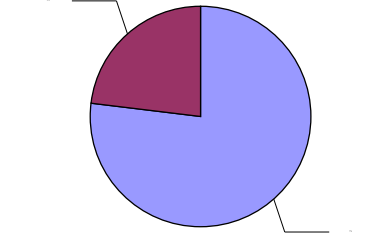


選挙へ行かない理由	(人)
自分が投票しても何も変わらないと思うから	15
政策の良し悪しを判断できないから	56
どの党、どの議員がする政治も同じように感じるから	34
投票所が遠いから	54
投票に行くひまがないから	48
政治は自分に関係がないと思うから	12
その他	32
計	251

■調査結果報告■

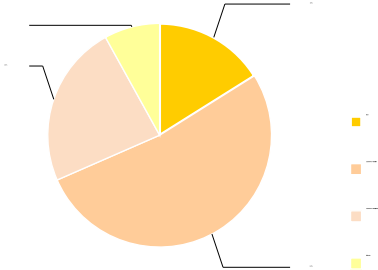
2, 若者から見たネット選挙

・ネット選挙が解禁されたことを知っているか



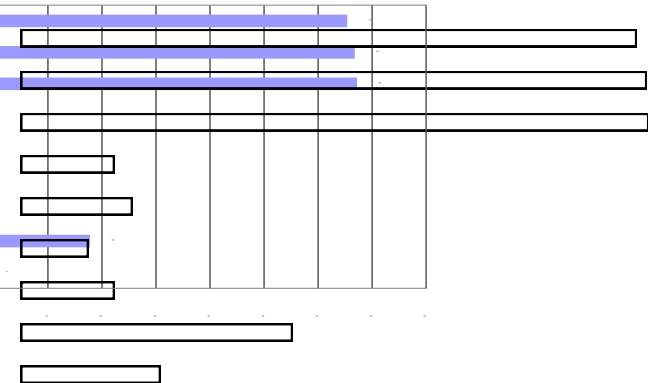
ネット選挙解禁を知っているか	(人)
はい	880
いいえ	264
計	1144

・ネット選挙解禁によって有権者が投票に行くようになると思うか



ネット選挙解禁によって有権者が投票に行くようになると思うか。	(人)
思う	184
どちらかといえば思う	599
どちらかといえば思わない	269
思わない	92
計	1144

・ネット選挙解禁で解禁してほしいことは何か
※複数回答可



ネット選挙でこれから解禁してほしいことは何ですか。	(人)
その他	97
自分の応援する候補者の近況をSNSで他の人へ拡散すること	189
選挙期間中に特定の候補者を批判する放送を動画共有サイトで行うこと	65
自分の応援する候補者のwebサイト上(SNS・ブログ等)に投稿されている内容を勝手に印刷して配布すること	48
自分の応援する候補者のメールを友達に転送すること	78
自分の応援する候補者への投票をよびかける広告を実費で掲示すること	66
投票期日(選挙の日)の前にインターネット上で投票すること	436
投票期日(投票所が開いている時間帯)にインターネット上で投票すること	434
投票期日の終日インターネット上で投票すること	427
計	1840

■質問項目■

- (1) あなたの性別を教えてください。
☐男 ☐女
- (2) 現在の学年を教えてください。
☐大学1年生 ☐大学2年生 ☐大学3年生
☐大学4年生 ☐大学院生
- (3) 現在お住まいの都道府県はどちらですか。
 ()
- (4) 住民票と現在のお住まいは同じですか。
☐はい ☐いいえ
- (5) 7月21日に参議院選挙があることをご存知ですか。
☐はい ☐いいえ
- (6) 不在者投票のシステムについてご存知ですか。
☐はい ☐いいえ
- (7) 今回の選挙に関心はありますか。
☐ある ☐どちらかといえばある
☐どちらかといえない ☐ない
- (8) あなたは今回の選挙に行きますか。
☐行く ☐迷っている ☐行かない ☐選挙権がない
- (9) 上の質問(8)で「行く」と答えた方に質問です。
 その理由を教えてください。
☐国民の義務だから ☐日本により良くなってほしいから
☐当選してほしい議員・政党があるから
☐その他()
- (10) 質問(8)で「迷っている」、「行かない」と答えた方に質問です。
 その理由を教えてください。
☐自分が投票しても何も変わらないと思うから
☐政策の良し悪しを判断できないから
☐どの党、どの議員がする政治も同じように感じるから
☐投票所が遠いから ☐投票に行くひまがないから
☐政治は自分に関係がないと思うから
☐その他()
- (11) あなたは今回の参議院選挙からネット選挙が解禁されたことを知っていますか。
☐はい ☐いいえ
- (12) ネット選挙でどんなことが解禁されたか知っていますか。
 以下から解禁されたと思うものを選択してください。
 ※SNSとは、facebookやtwitterなどの
 ソーシャル・ネットワーキング・サービスです。
☐自分の応援する候補者の近況をSNSで他の人へ拡散すること
☐選挙期間中に特定の候補者を批判する放送を
 動画共有サイトで行うこと
☐自分の応援する候補者のwebサイト上(SNS・ブログ等)に
 投稿されている内容を勝手に印刷して配布すること
☐自分の応援する候補者のメールを友達に転送すること
☐自分の応援する候補者への投票をよびかける広告を
 実費で掲示すること
☐投票期日(選挙の日)の前にインターネット上で投票すること
☐投票期日(投票所が開いている時間帯)にインターネット上で投票する
 こと
☐投票期日の終日インターネット上で投票すること
- (13) 今回のネット選挙解禁によって
 有権者が投票に行くようになると思いますか。
☐思う ☐どちらかといえば思う
☐どちらかといえない ☐思わない
- (14) ネット選挙でこれから解禁してほしいことは何ですか。
☐自分の応援する候補者の近況をSNSで他の人へ拡散すること
☐選挙期間中に特定の候補者を批判する放送を
 動画共有サイトで行うこと
☐自分の応援する候補者のwebサイト上(SNS・ブログ等)に
 投稿されている内容を勝手に印刷して配布すること
☐自分の応援する候補者のメールを友達に転送すること
☐自分の応援する候補者への投票をよびかける広告を
 実費で掲示すること
☐投票期日(選挙の日)の前にインターネット上で投票すること
☐投票期日(投票所が開いている時間帯)にインターネット上で
 投票すること
☐投票期日の終日インターネット上で投票すること
☐その他()

■回答者属性■

男性	48%
女性	52%

有権者	68%
非有権者	32%

1年	15%
2年	36%
3年	36%
4年	12%
大学院生	1%

■団体概要■

▼NPO法人ドットジェイビー <http://www.dot-jp.or.jp>

本部 東京都千代田区、理事長 佐藤大吾、1998年創業。

全国10支部にエリア展開し、大学生約200人が中心となって「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO法人。

累計15,000人の参加者数を誇る「議員インターンシッププログラム」をはじめ、「グローバルインターンシッププログラム」、

「未来国会」(<http://www.miraikokkai.com/>)、「未来自治体」(<http://www.miraijichitai.com/>)など若年層を対象とした

社会学習プログラムを提供。

また、「Yahoo!みんなの政治」(<http://seiji.yahoo.co.jp/>)等への議員・議案情報提供など、活動は多岐に及ぶ。